

作成日 2007/07/23 改定日 2015/10/20

## 安全データシート(SDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: プールボンE-921プライマー H 硬化剤

種類: エポキシ樹脂系接着剤

製造会社

会社名: AGCコーテック株式会社

住所: 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門: 技術本部 CSR室 江澤 孝行

電話番号: 03-5217-5104

FAX番号: 03-5217-5106

緊急連絡電話番号: 03-5217-5104

整理番号: 1271205112406

用途: プール塗装用

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性:

引火性液体 : 区分外

健康に対する有害性:

急性毒性—経口 : 区分外

急性毒性—経皮 : 区分外

急性毒性—吸入(気体) : 分類できない

急性毒性—吸入(蒸気) : 分類できない

急性毒性—吸入(粉塵/ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性/刺激性 : 区分3

眼に対する重篤な損傷性/刺激 : 区分1

呼吸器感受性 : 分類できない

皮膚感受性 : 区分1

生殖細胞変異原性 : 区分外

発がん性 : 区分外

生殖毒性 : 区分外

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 分類できない

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 分類できない

環境に対する有害性:

水生環境急性有害性 : 分類できない

水生環境慢性有害性 : 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:

・危険

危険有害性情報:

- ・軽度の皮膚刺激。
- ・重篤な眼の損傷。
- ・アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ。
- ・長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き:

安全対策:

- ・粉じん・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・緊急時を除き、環境への放出を避けること。
- ・保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。

救急措置:

- ・皮膚に付着した場合、大量の水と石鹼で洗うこと。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・直ちに医師に連絡すること。
- ・特別措置が必要。『4.応急措置』を参照。
- ・皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

廃棄:

- ・内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区分:

- ・混合物

化学名または一般名:エポキシ樹脂系接着剤

化学特性(化学式等):

成分及び含有量:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法		毒劇法	PRTR法
			表示対象物質	通知対象物質		
変成脂肪族ポリアミン	—	—	—	—	—	—
水	7732-18-5	—	—	—	—	—

4. 応急措置

目に入った場合:

- ・清浄な流水で15分以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:

- ・付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。
- ・かゆみ、炎症が出た場合は、直ちに医師の診断をうける。

吸入した場合:

- ・空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:

- ・大量の水、牛乳又は微温塩水を飲ませて吐かせた後、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法:

- ・この物自体は可燃物ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃物である。
- ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
- ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

消火剤:

- ・二酸化炭素、泡、粉末

使ってはならない消火剤

- ・水

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置:

- ・保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等を着用して作業する。

環境に対する注意事項:

- ・漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
- ・付近の着火原を取り除き、消化器剤を準備する。大量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。

回収、中和:

- ・少量の場合は、紙、布、砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。
- ・大量の場合、何よりも拡散の防止を図る。できるだけ液体を容器に回収する。  
回収できなかったものに対しては、少量漏出時の措置をとる。
- ・流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い:

- ・ 火気厳禁。炎、火花、高温体との接触、その他点火源となる恐れのある機械等の使用を禁止する。
- ・ 取扱いは、換気のよい場所で行ない、状況によって保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を使用する。
- ・ 取扱い後は、手洗いを充分に行なう。

### 保管:

- ・ 容器を密栓し、冷暗所に保管する。
- ・ その他、電気機器は防爆構造とする他、消防法などの法令に定める所に従う。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策:

蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。

### 管理濃度/許容濃度:

設定されていない。

### 保護具:

#### 呼吸器の保護具:

- ・ 状況に応じて有毒ガス用防毒マスクを着用する。

#### 手の保護具:

- ・ 状況に応じて、PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。

#### 目の保護具:

- ・ 状況に応じて、保護メガネを着用すること。

#### 皮膚及び身体の保護具:

- ・ 状況に応じて長袖作業衣等を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

物理的状态	: 液体
色	: 淡黄色
臭い	: 刺激臭
pH	: データなし
融点/凝固点	: データなし
沸点	: データなし
初留点	: データなし
沸騰範囲	: データなし
引火点	: —
自然発火温度(発火点)	: データなし
燃焼性(個体、ガス)	: データなし
燃焼または爆発範囲の上限/下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重(相対密度)	: 1.01
溶解性	: 水に可溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
その他のデータ	: データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性:

- ・ 通常のと扱い条件では安定。

### 危険有害反応可能性:

- ・ 通常のと扱い条件では危険有害反応を起こさない。

### 避けるべき条件:

- ・ 高温、火気、スパーク。

### 混触危険物:

- ・ アルカリ、酸化剤。

### 危険有害な分解生成成分:

- ・ 知見なし。

---

## 11. 有害性情報

### 刺激性(皮膚、眼):

- ・皮膚をわずかに刺激する。繰り返し、長時間の接触は、皮膚炎を起こす可能性がある。  
また、繰り返し、長時間の接触、または吸入は人によってアレルギー反応を引き起こす可能性がある。
- ・蒸気は呼吸器、眼に刺激性である。繰り返しの接触は結膜炎を起こす。

### 急性毒性:

- ・データなし
- 

## 12. 環境影響情報

### 移動性:

- ・製品として知見なし。

### 廃棄:

- ・漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。
- 

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物:

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。

### 汚染容器および包装:

- ・残余廃棄物と同様に処理する。
- 

## 14. 輸送上の注意

### 国連分類:非該当

### 国連番号:

- ・「取扱及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
  - ・その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。
  - ・容器にもれないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- 

## 15. 適用法令

- ・消防法:非該当
  - ・毒物劇物取締法:非該当
  - ・労働安全衛生法:
    - 表示対象物質:非該当
    - 通知対象物質:非該当
  - ・PRTR法:
    - 第1種指定化学物質:非該当
    - 第2種指定化学物質:非該当
- 

## 16. その他の情報

### 引用文献

- |   |            |
|---|------------|
| ・ 14102の化学商品                            | 化学工業日報社    |
| ・ 化学物質の危険、有害便覧                          | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 知っておきたい職場の化学物質                        | 中央労働災害防止協会 |
| ・ GHS対応による混合物(化学物質)のSDS作成手法の研修テキスト(改訂版) | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 製品安全データシートの作成指針                       | 日本化学工業会    |
| ・ エポキシ樹脂・硬化剤の正しい取扱いの手引き                 | エポキシ樹脂技術協会 |

### その他

- ・ 記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
- ・ 記載事項は通常の取扱いを対象とするものですので、指定された用途、用法以外には使用しないでください。
- ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報にもとづいて作成しておりますが、今後法律、規則等の改正、新たな知見及び試験等により改正することがあります。
- ・ このSDSは、日本国内においてのみ適用するものとします。
- ・ PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0. 1%以上の場合に対象となります。
- ・ PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。